



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場会社名 株式会社UBIC 上場取引所 東  
 コード番号 2158 URL http://www.ubic.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)守本 正宏  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 管理本部長 (氏名)谷口 正巳 (TEL)03(5463)6344  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,318	6.0	106	43.9	98	—	82	—
26年3月期第1四半期	1,244	△5.9	74	△85.1	5	△98.9	3	△98.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 91百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △12百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	2.39	2.35
26年3月期第1四半期	0.11	0.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,020	3,629	67.9
26年3月期	4,888	3,533	67.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,406百万円 26年3月期 3,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	43.8	710	—	610	—	570	—	16.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- 新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	34,411,360株	26年3月期	34,411,360株
----------	-------------	--------	-------------

- ② 期末自己株式数

27年3月期1Q	630株	26年3月期	630株
----------	------	--------	------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	34,410,730株	26年3月期1Q	32,995,850株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。これに伴い、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。これに伴い、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)における世界経済は、一部に弱さが見られるものの、引き続き米国やアジア地域で穏やかな景気拡大傾向となりました。我が国経済は4月の消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、当第1四半期連結累計期間前半は個人消費など一部で弱い動きも見られたものの、金融緩和政策の継続と円相場の安定、さらに企業業績の改善による設備投資の増加などにより穏やかな回復基調が続く状況となってまいりました。

当社グループは、世界に向けて『Lit i View EMAIL AUDITOR(リット・アイ・ビュー・イーメール・オーディター)』『Lit i View BIG DATA CASE MANAGER(リット・アイ・ビュー・ビッグデータ・ケース・マネージャー)』『Lit i View EXAMINER(リット・アイ・ビュー・エグザミナー)』及び『Lit i View ANALYZER(リット・アイ・ビュー・アナライザー)』によるサービス提供を開始致しました。

更に、国内においては、当社開発の人工知能等の最先端技術を活用したフォレンジック調査手法の有効性が高く評価され、第三者機関調査において複数の実績を残しました。

他方、ナスダック市場への上場1周年を迎え、ディスカバリ(証拠開示)支援業務の主要市場である米国において、認知度が一層高まってまいりました。

引き続き、当連結会計年度の計画と戦略を確実に進め、米国での継続的なブランド力強化ならびに日本、韓国、台湾でのマーケット拡大のための施策を進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の事業内容別の売上につきましては次のとおりであります。

eディスカバリ事業につきましては、カルテル調査の動きが活発になった事やBIG DATA CASE MANAGERの導入により訴訟の発生の有無にかかわらずホスティングビジネスが拡大したこと等で売上高は1,205,996千円(前年同四半期比6.4%増)となりました。

リーガル/コンプライアンスプロフェッショナルサービス事業につきましては、当社の人工知能等を活用した最先端調査技術の有効性が認知され、前期第4四半期から大きく売上高を伸ばすことができました。しかし、前年同四半期には、同じく大型調査案件があったため、売上高は101,237千円と前年同四半期比で0.6%減となりました。

その他の事業につきましては、売上高は11,397千円(前年同四半期比36.8%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,318,631千円(前年同四半期比6.0%増)となりました。

損益につきましては、自社開発の電子証拠開示支援システム「Lit i View」(リット・アイ・ビュー)の機能強化のための継続的な投資を行いました。売上高の増加および全社的な費用の効率化等に努めたことにより営業利益は106,471千円(前年同四半期比32,466千円増)となりました。一方、円高の影響により収益が圧迫されたものの、株式公開費用の負担がなくなったことにより経常利益は98,898千円(前年同四半期比93,639千円増)となり、四半期純利益は82,348千円(前年同四半期比78,839千円増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて131,470千円増加し、5,020,151千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて95,697千円増加し、2,855,317千円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加343,960千円、現金及び預金の減少248,867千円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて35,773千円増加し、2,164,833千円となりました。これは主に工具、器具及び備品の増加31,773千円によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比べて35,046千円増加し、1,390,556千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて88,064千円増加し、876,033千円となりました。これは主に短期借入金の増加84,000千円、未払費用の増加39,631千円、賞与引当金の減少41,431千円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて53,018千円減少し、514,522千円となりました。これは主に長期借入金の減少68,649千円によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて96,424千円増加し、3,629,594千円となりました。これは主に利益剰余金の増加82,348千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年3月期連結業績予想につきましては、前回公表時（平成26年5月14日）から変更はございません。

(注) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性があることを予めご承知ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第10項に規定する特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はございません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,486,474	1,237,606
受取手形及び売掛金	872,751	1,216,712
商品	291	291
貯蔵品	6,777	7,903
繰延税金資産	148,945	148,645
その他	244,380	244,158
流動資産合計	2,759,620	2,855,317
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	111,672	125,303
工具、器具及び備品(純額)	550,374	582,148
リース資産(純額)	9,279	8,554
有形固定資産合計	671,326	716,006
無形固定資産		
ソフトウェア	868,675	857,321
その他	73,516	64,522
無形固定資産合計	942,191	921,844
投資その他の資産		
投資有価証券	372,910	389,063
差入保証金	126,047	127,121
その他	16,584	10,798
投資その他の資産合計	515,541	526,983
固定資産合計	2,129,059	2,164,833
資産合計	4,888,680	5,020,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	61,720	57,638
短期借入金	—	84,000
1年内返済予定の長期借入金	274,599	274,599
未払金	262,859	257,332
未払法人税等	8,970	8,667
賞与引当金	91,704	50,273
その他	88,114	143,522
流動負債合計	787,969	876,033
固定負債		
長期借入金	438,000	369,350
繰延税金負債	65,712	69,693
退職給付に係る負債	19,286	27,499
資産除去債務	29,641	35,417
その他	14,901	12,561
固定負債合計	567,541	514,522
負債合計	1,355,510	1,390,556
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,095,358	1,095,358
資本剰余金	882,818	882,818
利益剰余金	1,160,500	1,242,848
自己株式	△26	△26
株主資本合計	3,138,651	3,220,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143,529	153,960
為替換算調整勘定	33,007	31,725
その他の包括利益累計額合計	176,536	185,686
新株予約権	196,675	201,374
少数株主持分	21,306	21,535
純資産合計	3,533,169	3,629,594
負債純資産合計	4,888,680	5,020,151



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,244,141	1,318,631
売上原価	601,822	639,207
売上総利益	642,318	679,423
販売費及び一般管理費	568,312	572,952
営業利益	74,005	106,471
営業外収益		
受取利息	35	77
受取配当金	6,750	9,000
為替差益	53,007	—
その他	1,487	697
営業外収益合計	61,279	9,774
営業外費用		
支払利息	3,530	1,748
為替差損	—	13,004
株式公開費用	120,394	—
シンジケートローン手数料	5,916	2,592
その他	184	1
営業外費用合計	130,025	17,347
経常利益	5,259	98,898
税金等調整前四半期純利益	5,259	98,898
法人税等	805	16,322
少数株主損益調整前四半期純利益	4,453	82,576
少数株主利益	944	228
四半期純利益	3,508	82,348

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,453	82,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,459	10,431
為替換算調整勘定	6,721	△1,281
その他の包括利益合計	△16,737	9,150
四半期包括利益	△12,283	91,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,228	91,498
少数株主に係る四半期包括利益	944	228

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	621,103	546,219	76,818	1,244,141	—	1,244,141
セグメント間の内部売上高 又は振替高	175,831	29,007	5,762	210,601	△210,601	—
計	796,935	575,226	82,580	1,454,742	△210,601	1,244,141
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△18,148	107,451	△15,297	74,005	—	74,005

(注) 1. 売上高の調整額は、セグメント間取引消去になります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	833,506	429,985	55,140	1,318,631	—	1,318,631
セグメント間の内部売上高 又は振替高	150,795	21,517	21,623	193,936	△193,936	—
計	984,301	451,502	76,763	1,512,567	△193,936	1,318,631
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	114,845	23,462	△31,836	106,471	—	106,471

(注) 1. 売上高の調整額は、セグメント間取引消去になります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。